

* このページは、オンライン「生」授業で学習したことや、自分自身で学習した内容など、自由に利用してください。(このページの学習内容を評価対象とします。)

。生活に便利 -- 水のあふ びと
。安全だ -- 洪水は
。人の住みやす -- 集落の形成

「集落」とは...? → 人間が集まって生活している所。都市や村落。また、特に農村・山村・漁村などの村落。

〈扇状地の土地利用とすることにあたり、起こりやすい災害を知っておこう!〉

○ 洪水

- ① 台地・丘陵
比高が数m以上の場合は安全。比高が2m以下の場合は大洪水で浸水する場合も。
- ② 自然堤防
川の両側に洪水で運ばれた土砂が堆積してできたような地形。大洪水で浸水する場合も。

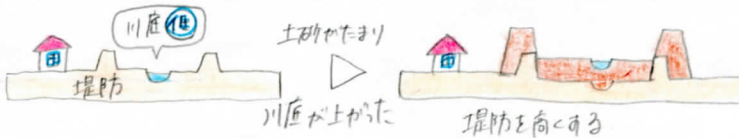


- ③ 氾濫平野
洪水氾濫の地。内水氾濫も発生しやすい。
- ④ 後背湿地
自然堤防の背後にできる湿地帯。わがわが降雨でも浸水しやすく、浸水深・浸水時間とも大きくなる。

まとめると...
。日本の平野は洪水被害リスクが
高い場所が多い。
。土地を成り立ちで分類した
図を見るとその土地の洪水
危険性がわかる。
。水の流すは地形形によって決まる
ため、身の周りの地形や土地の
高低を普段からよく確認して
おく。

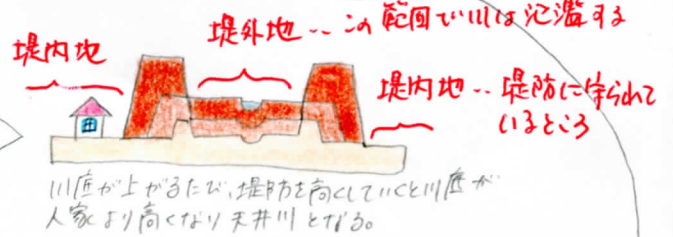
○ 「天井川」について

天井川... 土砂がたまると川の底が周辺の平地より高くなった。



→ Q 天井川は低い位置にある電車や住宅は安全なの?

A. 普段は安全だが、川底が周囲の土地よりも高いため、洪水で決壊すると水の勢いで川の底が割れてくるから危険だ。



- 内水氾濫 ... 堤防で守られている市街地側を堤内地といひ、そこで発生する浸水のこと。 -- 反対に外水氾濫もあり得る。
Q 川があるだけじゃ浸水の心配はない? **堤**
A. いいえ。水路がマンホールなどから水があふくこともあるから、近くに川があつたら安全とはいえない。台風19号で堤防が
決壊し、堤内地に
水があふく、土砂が被った
発生しました。
- 土砂災害
土砂災害には、がけ崩れ、土石流、地すべりの3種類がある。
※ 扇状地谷口は土石流に注意が必要
→ 山で降った雨が谷に集まり、土砂を押し流しそうな地形であるから。
土砂災害の危険性は地形と大きく関係している。

がけ崩れ... 斜面上の土砂や岩塊が安全性を失って崩落する現象。
土石流... 土砂が水と混合して、河川・溪流などを流下する現象のこと。
地すべり... 山の斜面にある土や岩が、下方にひたたまるとすべり落ちる現象。大雨や地震によって発生する。

(総まとめ)

- 地形と災害はとも関係が深い。
- 地形からその土地で今後どのような災害が発生するかの予根することが出来る。
- 地形を知り、災害から身を守る方法を身につけることが大切である。

(おさらいクイズ)

- Q1. 洪水の時、水の流れる方向は以下のうちどつが正しい?
A. 地形に関係ない B. 土地の低い方に流れる C. 土地の高い方に流れる
- Q2. 内水について、標高は関係なく、まわりよりも、
(A. 高い土地 B. 低い土地)は浸水に注意が必要である。
- Q3. 土砂災害の種類を3つあげなさい。

A, Q1 → B, Q2 → B, Q3 → がけ崩れ、土石流、地すべり